

# TOSHIBA

Leading Innovation >>>

## 東芝パッケージエアコン

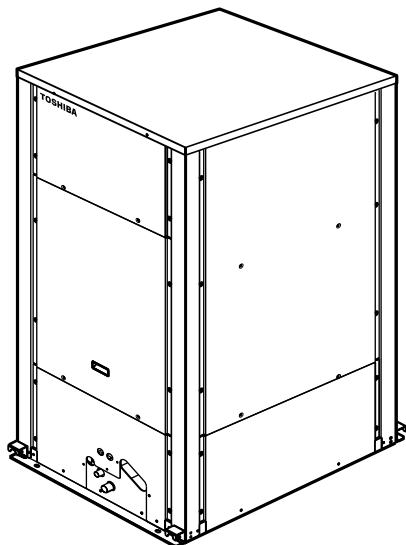
# 取扱説明書 蓄熱ユニット

形名

蓄熱ユニット

RBM-CT250T -1

RBM-CT250W-1



本書は蓄熱ユニット、蓄熱リモコンおよび蓄熱用ウィークリータイマーの取扱説明書です。室内ユニットおよび室外ユニットについては、別冊の取扱説明書をお読みください。

### もくじ

安全上のご注意 .....	1
各部のなまえ	
蓄熱ユニット .....	3
蓄熱リモコンのなまえとはたらき .....	4
蓄熱リモコンの正しい使いかた .....	5
蓄熱用ウィークリータイマーについて (システム概要) ...	6
蓄熱用ウィークリータイマー操作部の なまえとはたらき ...	7
蓄熱用ウィークリータイマー操作部の 正しい使いかた ...	8
確認と点検 .....	13
保証とアフターサービス .....	19

このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。

据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。

保証書を必ずお受け取りください。

日本国内専用品  
Use only in Japan

# 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 表示の説明



**警告**

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（\*1）を負うことが想定される内容”を示します。



**注意**

“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（\*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（\*3）の発生が想定される内容”を示します。

\*1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

\*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

## 図記号の説明



禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

## 警告

### 据え付け上の警告

据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する

据え付けには専門の知識と技術が必要です。

ご自分で据え付け工事をされ不備があると、火災・感電・けが・水漏れなどの原因になります。



据え付けを依頼する

別売品は必ず弊社指定の製品を使用する

加湿器などの別売品は、必ず弊社指定の製品を使用してください。指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取り付けは専門の業者に依頼してください。



指定製品を使用する

小部屋に据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う

限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。



限界濃度を超えない対策をする

アース工事が正しく行われているか確認する

法律によりD種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アースを確認する

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにする

体調悪化・健康障害の原因になります。



禁止

空気の吸込口や吹出口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転しておりますのでけがの原因になります。



禁止

### 使用上の警告

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して手元電源スイッチを切り、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ連絡する

異常のまま運転を続けると火災・感電・故障などの原因になります。



手元電源スイッチを切る

エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談すること冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する




エアコンに使用されている冷媒は安全です。

冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。


















強制

 **警告**

移設・修理などの警告	改造は絶対にしない 火災・感電などの原因になります。  禁止	修理はお買い上げの販売店に依頼するか、東芝 エアコン空調換気ご相談センターに連絡する 修理に不備があると火災・感電などの原因に なることがあります。  依頼する
	エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する 据え付けに不備があると火災・感電・けが・水漏れなどの原因になります。  移設を依頼する	

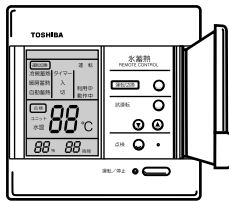
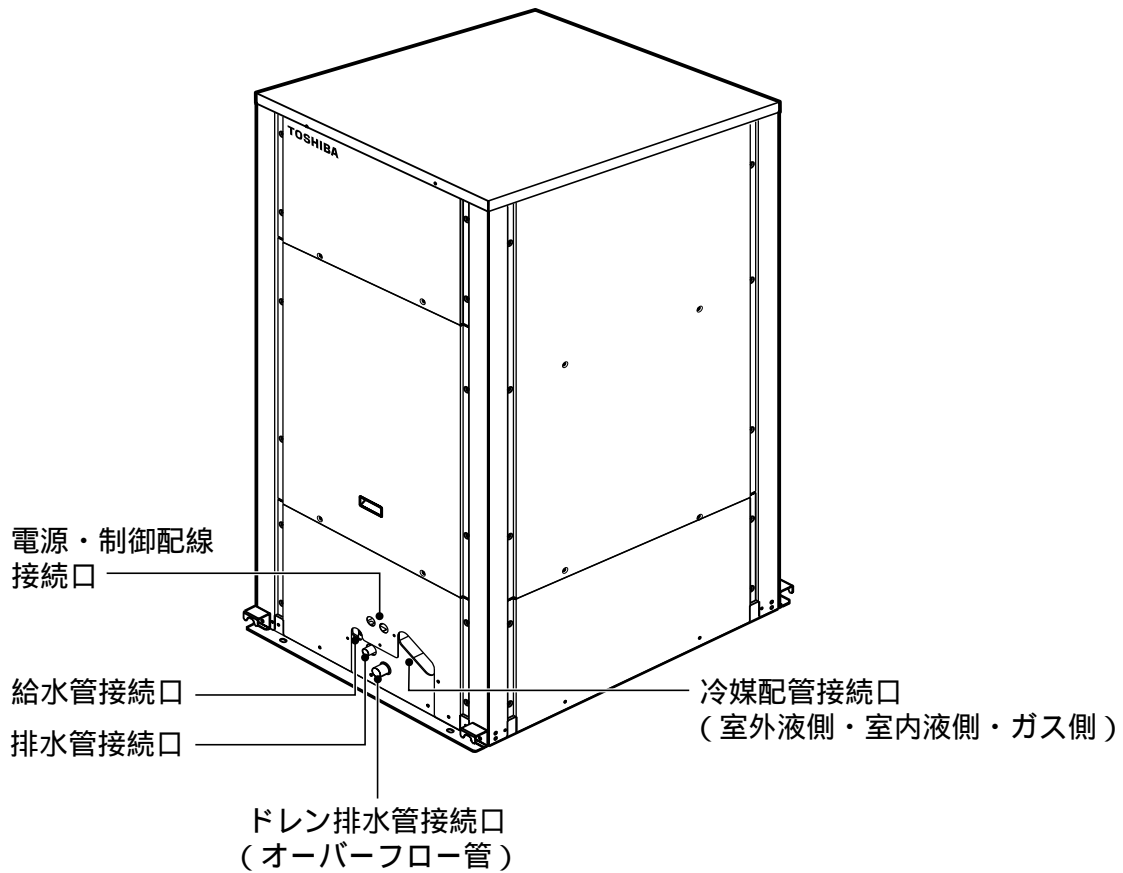
 **注意**

据え付け上の注意	ドレン配管が、確実に排水するように 施工されているか確認する 配管工事に不備があると水漏れをおこし、 家財などをぬらす原因になります。 ドレン排水を確認する 	漏電ブレーカーが取り付けられているか確認 する 法規上漏電ブレーカーの取り付けが必要です。 漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電 の原因になります。 漏電ブレーカーを確認する 
	可燃性ガスの漏れる恐れのない場所に 設置されているか確認する 万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると 発火の原因になることがあります。 据付場所を確認する 	室外ユニット、蓄熱ユニットが基礎に固定さ れているか確認する 基礎に固定しないと転倒などによる事故の原因 になることがあります。 固定方法を確認する 

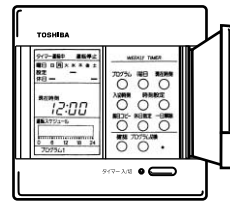
使用上の注意	エアコンを水洗いしない 感電の原因になります。  禁止	エアコンの風が直接あたるところに燃焼器 具を置かない 燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。  禁止
	長期使用で据付台などが傷んでいない か確認する 傷んだ状態で放置するとユニットの落下に つながりけがなどの原因になります。 据付台を確認する 	燃焼器具といっしょに運転するとき、 こまめに換気をする 換気が不十分な場合は酸素不足の原因に なります。 換気する 
	エアコンの風が直接あたる場所には動 植物を置かない 動植物に悪影響を及ぼす原因になります。  禁止	可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置い たり、エアコンに直接吹きかけない 発火の原因になります。  禁止
	ユニットの上に花瓶など水の入った容 器を載せない ユニット内部に浸水して電気絶縁が 劣化し、感電の原因になります。  禁止	ぬれた手でスイッチを操作しない 感電の原因になります。  禁止
	食品・動植物・精密機器・美術品の保 存などの特殊用途には使用しない 品質低下の原因になります。  禁止	掃除をするときは、必ず運転を停止して 手元電源スイッチを切る 内部でファンが高速回転していますのでけが の原因になります。 手元電源スイッチを切る 
	正しい容量のヒューズ以外は使用しない 針金や銅線を使用すると火災や故障の原因になります。 電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。 	正しいヒューズを使用する

# 各部のなまえ

## 蓄熱ユニット



蓄熱リモコン (別売)  
RBC-AZ1



蓄熱用ウィークリータイマー (別売)  
RBC-EXW1P

# 蓄熱リモコンのなまえとはたらき

## 表示部

表示例は説明のため全て表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。

### タイマー表示

接続してご使用のタイマー  
運転状態を表示します。

### 運転切換表示

蓄熱運転モードを表示します。

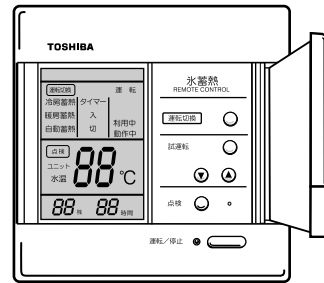
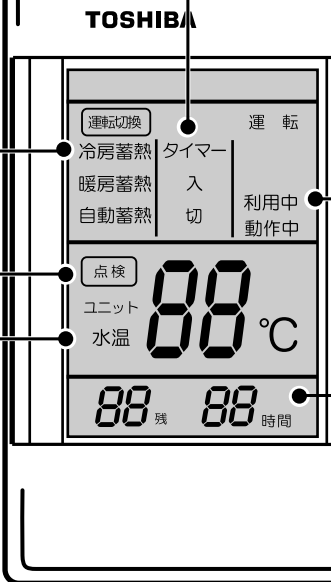
### 点検表示

点検モード中に表示します。  
水温表示部に蓄熱ユニット  
番号、試運転時間表示部に  
不具合の内容を表わす点検  
番号を表示します。

### 水温表示

蓄熱ユニット（親）の槽内  
水温を表示します。  
0～30（2 刻み）  
蓄熱ユニットの水槽に水が  
張られていない場合、0 と  
55 を交互に表示します。

表示部



### 運転表示

運転中に表示します。

### 利用 / 動作中表示

蓄熱利用中または蓄熱動作  
中の運転状態を表示します。  
給水中は、利用 / 動作中を  
点滅表示します。

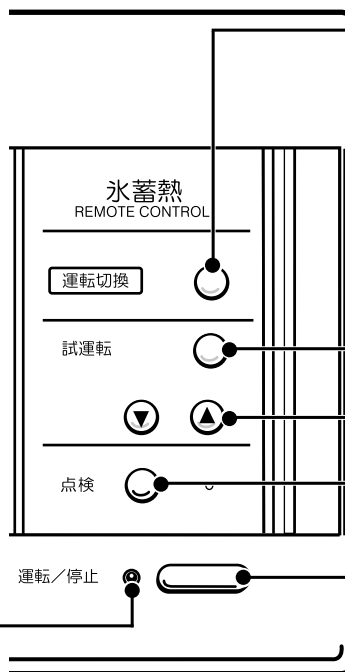
### 試運転時間表示

試運転サービス時の残時間  
を表示します。

## 操作部

各スイッチを押し希望の運転を選択します。

操作部



### 運転切換スイッチ

希望の運転モードを表示、選択  
します。

### 試運転スイッチ

試運転サービス時に使用します。

### ユニット番号切換スイッチ

希望の試運転ユニット番号  
を表示選択するときを使用  
します。

### 点検スイッチ

点検チェック時に使用します。

### 運転 / 停止スイッチ

蓄熱ユニットに水が張られて  
いない場合は、蓄熱リモコン  
の運転 / 停止スイッチを押し、  
運転ランプ(LED(赤))点灯後、  
自動的に給水を開始します。

### 運転ランプ

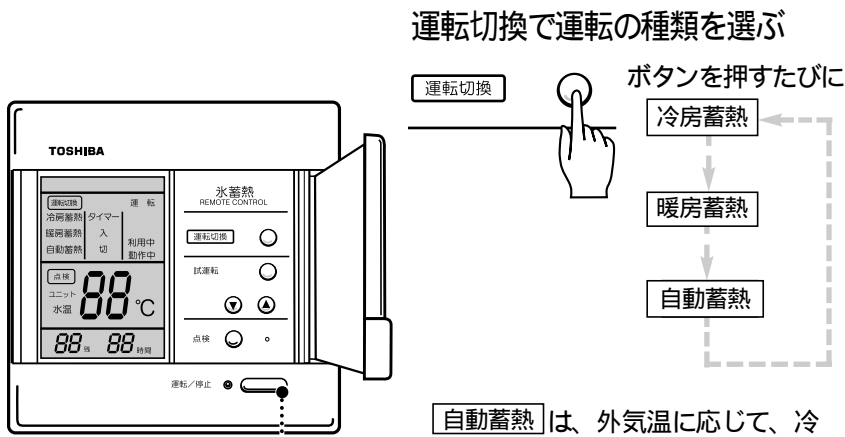
### お願い

試運転・ユニット番号切換・点検スイッチはサービス時に使用し  
ます。通常は操作しないでください。

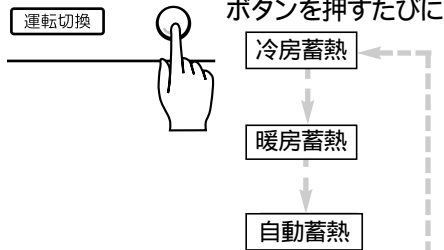
# 蓄熱リモコンの正しい使いかた

## 準備

手元電源スイッチを入れると「**運転**」ランプ（赤）が点滅します。これは、運転を停止しているときです。前回手元電源スイッチを切ったときに運転中であれば、「**運転**」ランプが点灯し、自動的に運転を再開します。



### 運転切替で運転の種類を選ぶ



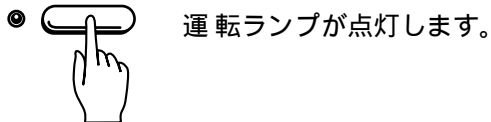
「**自動蓄熱**」は、外気温に応じて、冷房蓄熱と暖房蓄熱を自動的に選択します。通常は、「**自動蓄熱**」でお使いください。

蓄熱タイマー運転を行うために別売品のウィークリタイマー（RBC-EXW1P）や市販タイマーなどを接続し、あらかじめ冷房蓄熱（製氷）運転時間の予約を設定してください。くわしくは各タイマーに付属の説明書をご覧ください。

22時から翌日の8時まで、毎日タイマー入になるようにタイマーを設定します。この設定された時間内に冷房蓄熱（製氷）または暖房蓄熱（温水生成）運転を行います。蓄熱運転時刻の設定は電力会社との契約で決められていますので設定を変更しないでください。

## 運転

「**運転 / 停止**」を押す



「**運転**」を表示します。ご使用のタイマー設定内容により「**タイマー**」「**入**」または「**切**」を表示します。

しばらくしてから「**タイマー入**」のとき

蓄熱（製氷または温水生成）運転動作中に「**動作中**」を表示します。

蓄熱運転中は 室内ユニットを運転しないでください。

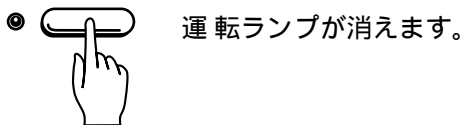
「**タイマー切**」のとき

蓄熱利用運転中に「**利用中**」を表示します。

「**利用中**」は蓄熱（夜間に作った氷または温水）を利用して冷房運転または除霜運転を行っています。

## 停止

「**運転 / 停止**」を押す



運転を停止すると運転ランプと「**運転**」・「**タイマー**」・「**入 / 切**」・「**利用 / 動作中**」表示は消え、他の表示は残ります。

## お願い

冬季において、蓄熱ユニット内の水を入れたまま本システムを使用しない場合も、システムの電源を全て入れた状態で、蓄熱リモコンの運転をON・蓄熱用ウィークリタイマーを、22:00から翌日8:00までの間、毎日「入」になるように設定した状態にしておいてください。蓄熱ユニット内の水が凍結し、故障の原因となります。

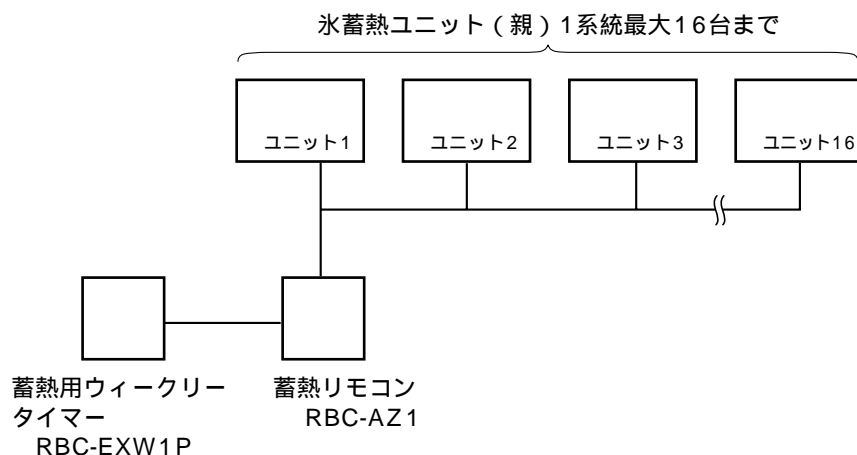
蓄熱（製氷・温水生成）運転または給水中では、室内ユニットを運転しないでください。運転しても、冷房・暖房運転はできません。

# 蓄熱用ウィークリータイマーについて

## (システム概要)

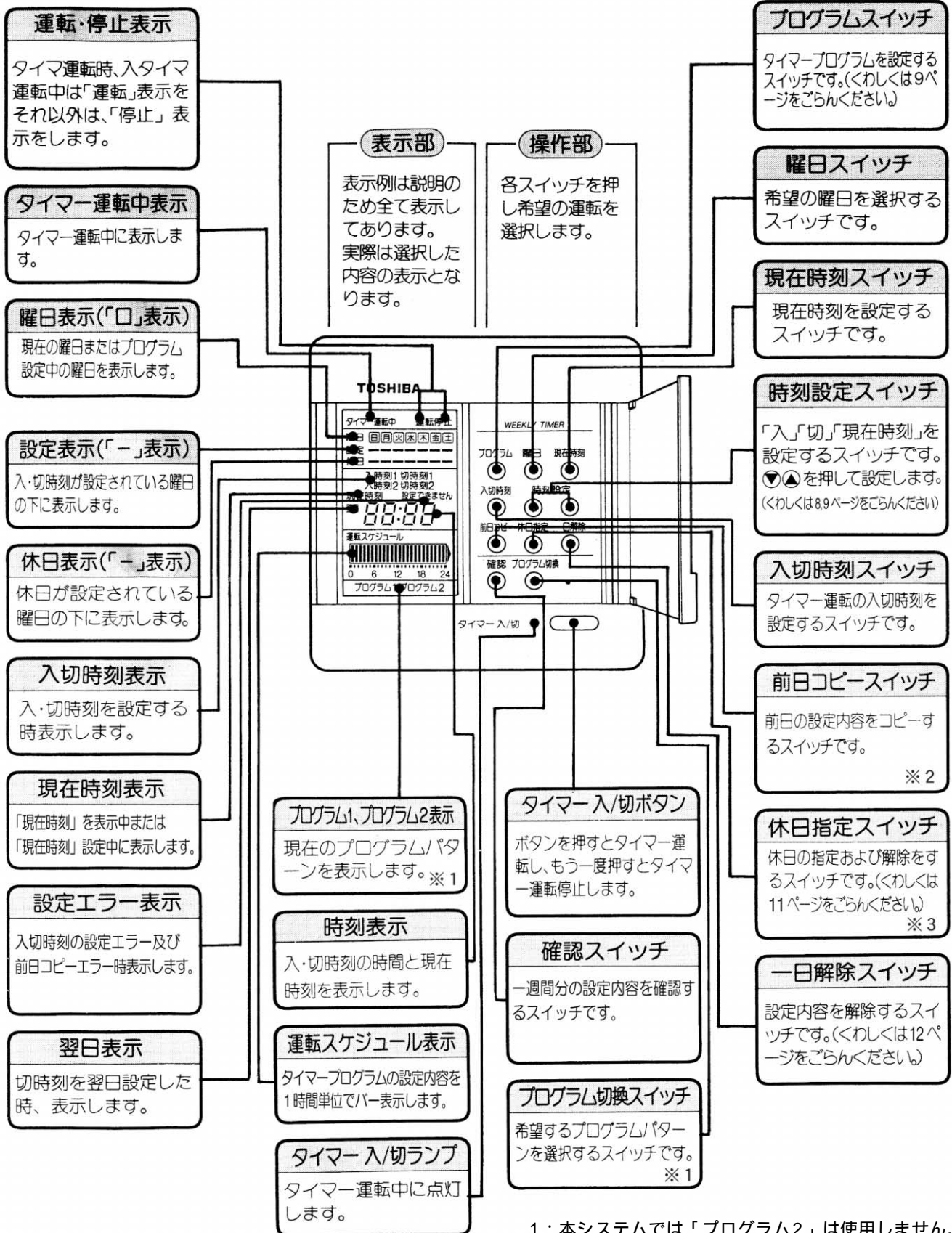
### 蓄熱用ウィークリータイマーの機能

- 1) 1週間単位でタイマープログラム運転の設定が2パターンできます。(本システムでは1パターンのみ使用します。)
- 2) 1日2回の入切タイマー時刻を1分単位で設定できます。(本システムでは、入切タイマー時刻の設定は1日1回しか行いません。)
- 3) 24時間表示です。
- 4) 1日のタイマープログラムの設定内容をわかりやすいようにバー表示します。
- 5) 休日指定機能により、タイマープログラム運転を容易にキャンセルすることができます。  
(本機能は蓄熱ユニットの故障時などにご使用ください)
- 6) 一日解除設定により、設定内容を容易にクリアすることができます。
- 7) 設定内容の確認が容易にできます。
- 8) 72時間以内の停電ならば再セットの必要はなく、停電から復帰した場合は、停電する前のタイマープログラム状態で運転します。



# 蓄熱用ウィークリータイマー操作部の なまえとはたらき

(リモコンの取説抜粋)



1 : 本システムでは「プログラム2」は使用しません。  
2 : 本システムでは使用できません。  
3 : 本機能は蓄熱ユニットの故障時などにご使用ください。

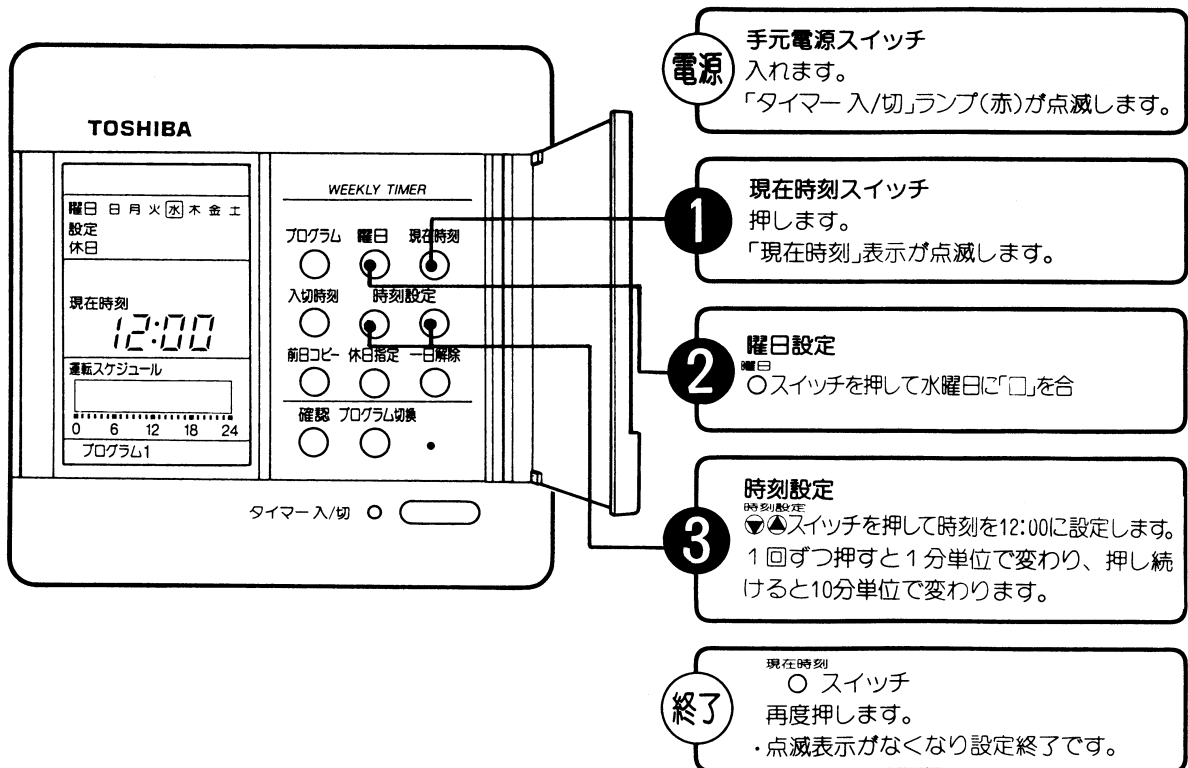
# 蓄熱用ウィークリータイマーの正しい使いかた

(リモコンの取説抜粋)

## 現在時刻設定のしかた

- ・ 運転する前に次の手順で必ず現在時刻を合わせてください。  
(リセット時は現在時刻を設定しないと他の操作はできません)
- ・ 時刻表示は、手元電源スイッチが入っていれば、タイマー運転/停止に関係なく表示します。(停電時は消灯します)
- ・ 時刻は24時間表示です。午後の1時の場合は **13:00** と表示します。

(例) 現在時刻を水曜日の12:00に設定する場合



- ・ ③の操作をしなくても15秒後に現在時刻の設定終了となります。
- ・ 現在時刻設定中は、曜日スイッチと時刻設定スイッチ以外のスイッチを押しても表示内容は変わりません。

# 蓄熱用ウィークリータイマーの正しい使いかた

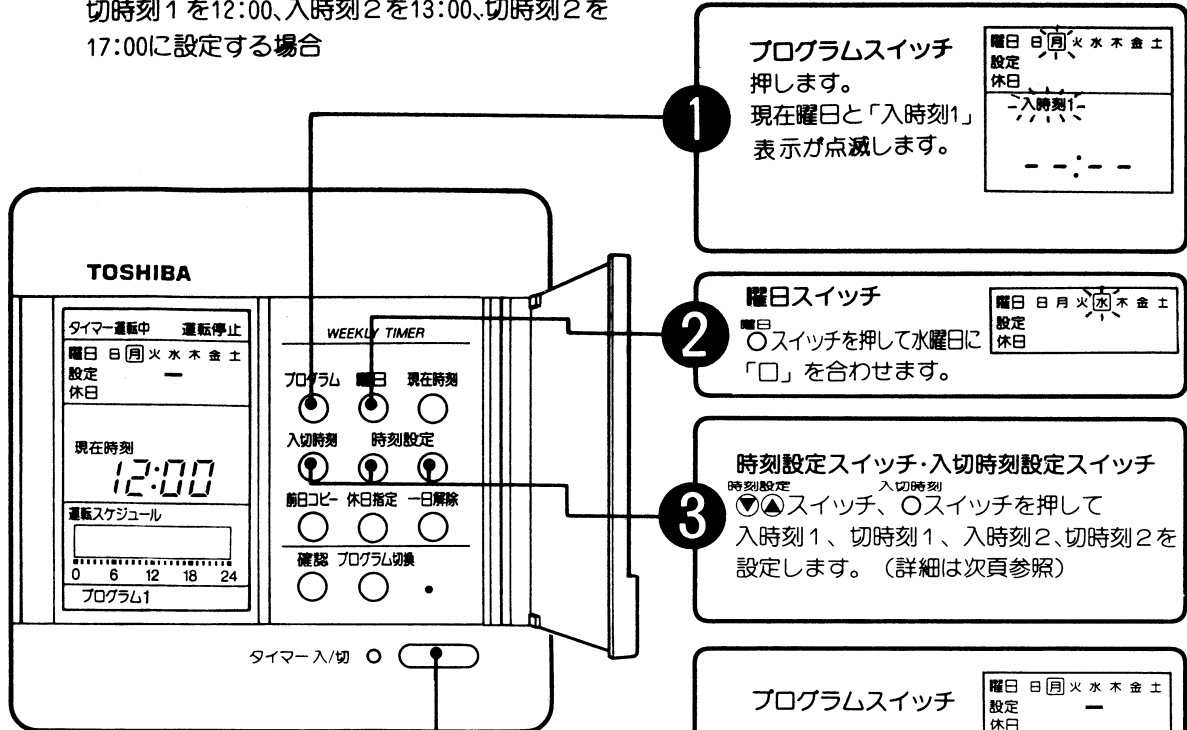
(つづき)

## タイマープログラム運転の設定のしかた

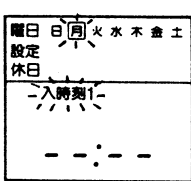
### 蓄熱運転予約設定のお願い

日曜日から土曜日まで、すべての曜日ごとに「入時刻1」を"22:00"、「切時刻1」を"翌日8:00"になるように下記の方法で設定し、1週間分のプログラム設定を行ってください。  
 (「入時刻2」「切時刻2」は使用しないでください)  
 タイマー入/切ランプ(赤)を点灯させてお使いください

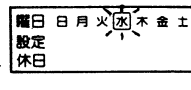
(例) 現在が月曜日の時に、水曜日の入時刻1を8:00  
 切時刻1を12:00、入時刻2を13:00、切時刻2を  
 17:00に設定する場合



**プログラムスイッチ**  
 押します。  
 現在曜日と「入時刻1」  
 表示が点滅します。



**曜日スイッチ**  
 曜日スイッチを押して水曜日に  
 「日」を合わせます。



**時刻設定スイッチ・入切時刻設定スイッチ**  
 時刻設定スイッチ、入切時刻  
 設定スイッチを押して  
 入時刻1、切時刻1、入時刻2、切時刻2を  
 設定します。(詳細は次頁参照)

**プログラムスイッチ**  
 再度押します。  
 ・水曜日の下に設定表示  
 「-」がでます。  
 通常表示(現在時刻表示)  
 になります。



- ・**終了**の操作をしなくても、曜日スイッチで曜日を移動した時、または、15秒後に設定終了となります。
- ・切時刻を設定する前には必ず入時刻を設定してください。入時刻を設定せずに切時刻を設定しようとすると、「設定できません」表示がでます。
- ・切時刻の1つを翌日設定した時、「翌日」表示と運転スケジュールの右端の「▶」を表示します。

**タイマー入/切ボタン**  
 押します。  
 ・「タイマー入/切」ランプ(赤)が点灯し、「タイマー運転中」表示がでます。  
 ・入タイマー運転中であれば「運転」表示を、それ以外は「停止」表示をします。

**タイマー入/切ボタン**  
 再度押します。  
 ・「タイマー入/切」ランプ(赤)が消灯し、「タイマー運転中」表示が消えます。  
 ・「運転」または「停止」表示が消えます。

# 蓄熱運転時の 入切時刻設定のしかた(例)

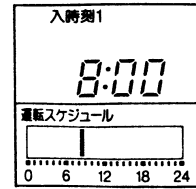
3-1

## 時刻設定スイッチ

時刻設定

▼▲スイッチを押して8:00を設定します。 1

1 本システムでは「入時刻1」を22:00に設定してください。

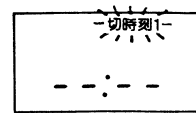


3-2

## 入切時刻スイッチ

入切時刻

○スイッチを押します。「切時刻1」が点滅表示します。



3-3

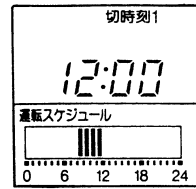
## 時刻設定スイッチ

時刻設定

▼▲スイッチを押して12:00を設定します。 2

(スイッチを押した時、前回設定してあればその時刻を設定してなければ8:01を最初表示します)

2 本システムでは「切時刻1」を翌日8:00に設定してください。

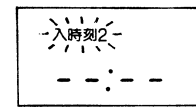


3-4

## 入切時刻スイッチ

入切時刻

○スイッチを押します。「入時刻2」が点滅表示します。



3-5

## 時刻設定スイッチ

時刻設定

▼▲スイッチを押して13:00を設定します。

(スイッチを押した時、前回設定してあればその時刻を設定してなければ12:00を最初表示します)

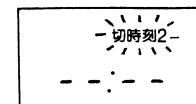


3-6

## 入切時刻スイッチ

入切時刻

○スイッチを押します。「切時刻2」が点滅表示します。



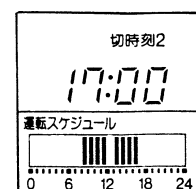
3-7

## 時刻設定スイッチ

時刻設定

▼▲スイッチを押して17:00を設定します。

(スイッチを押した時、前回設定してあればその時刻を設定してなければ13:01を最初表示します)



本システムでは  
使用しません。

# 蓄熱用ウィークリータイマーの正しい使いかた

(つづき)

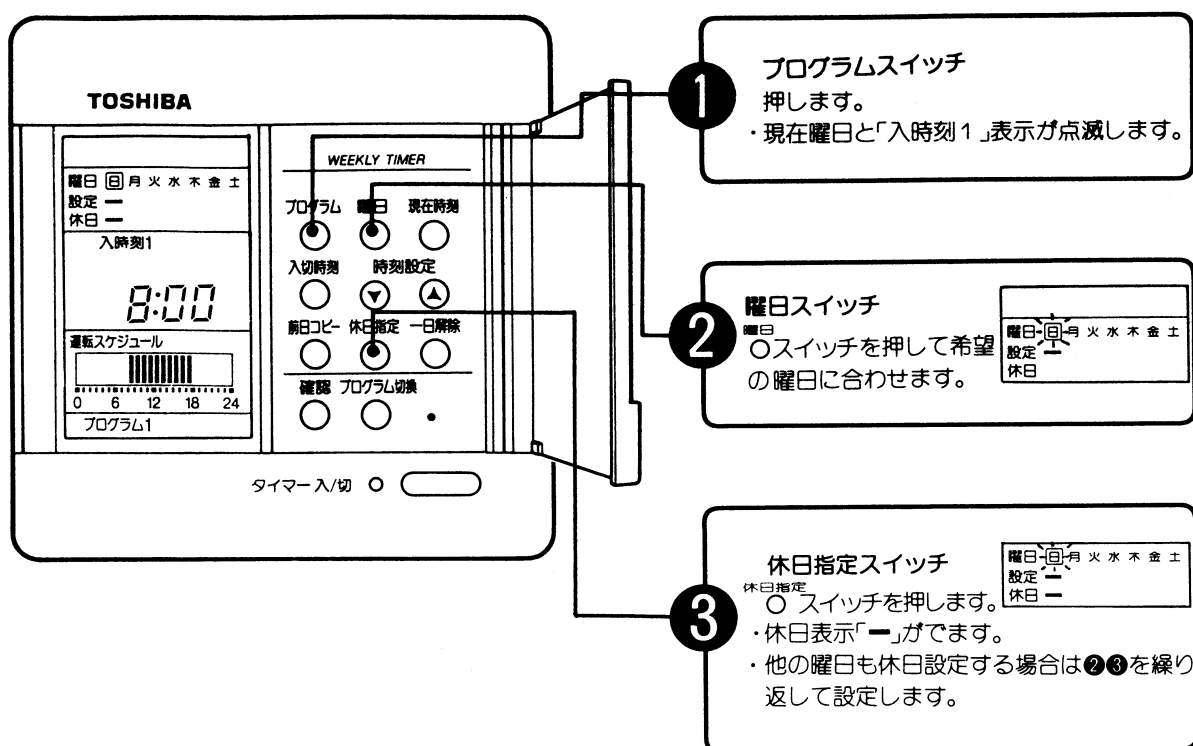
## 休日設定のしかた

本システムでは基本的に休日設定は行いません。蓄熱ユニットの故障時などにお使いください。

希望する曜日のタイマープログラム運転をキャンセルします。

(タイマープログラム運転の設定内容は記憶したまま、タイマー運転を停止します。)

(例) 日曜日を休日設定する場合



・③の操作をしなくても、曜日スイッチで曜日を移動した時、または15秒後に設定終了になります。

・休日指定を解除する場合は③で再度休日指定スイッチを押します。  
休日表示「一」が消灯します。

終了

プログラムスイッチ  
再度押します。  
通常表示(現在時刻表示)に戻ります。

# 一日解除のしかた

本機能は設定を間違った場合にお使いください。

希望する曜日のタイマープログラム設定内容をクリアします。

(例) 木曜日の設定をクリアする場合

**1** **プログラムスイッチ**  
プログラム  
○スイッチを押して現在曜日と「入時刻1」表示を点滅させます。

**2** **曜日スイッチ**  
曜日  
○スイッチを押して希望の曜日に合わせます。

**3** **一日解除スイッチ**  
一日解除  
○スイッチを押して設定表示「—」を点滅させます。時刻表示が「--:--」になります。  
・他の曜日の内容もクリアする場合は②③を繰り返して設定します。

**終了** **プログラムスイッチ**  
再度押します。  
・通常表示(現在時刻表示)に戻ります。

・②の操作をしなくても曜日スイッチで曜日を移動した時、または15秒後に設定終了になります。

・一日解除を取消す場合は③で再度一日解除スイッチを押します。

# 確認と点検

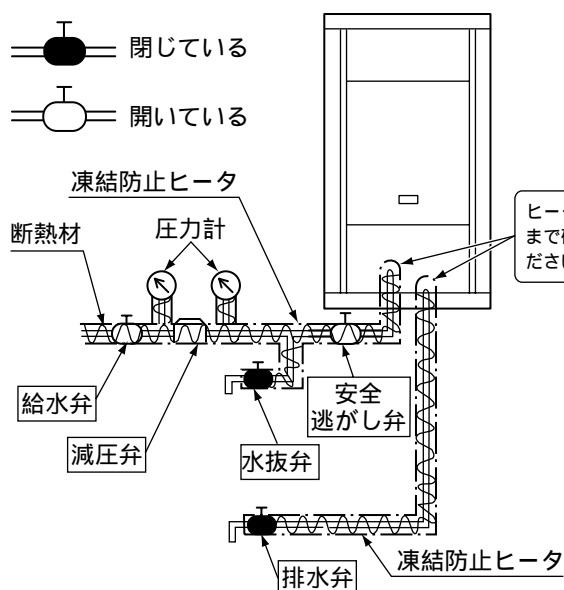
## 水配管の凍結防止について

冬期は寒冷地だけでなく、温暖な地域でも思わぬ寒波で気温が0 以下になることがあります。配管が凍結すると減圧弁および給水弁が破損する恐れがあります。したがって、凍結事故を防ぐため、地域の気候条件にあった凍結防止対策をしてください。オーバーフロー管（PVC管使用の場合）へのヒータ施工は、接合部の抜けの原因となることがあるのでおやめください。

冬季に電源をOFFした状態で放置すると水槽内の水が凍結し、水槽が破壊する恐れがあります。電源は年間を通して常時ONとしてください。

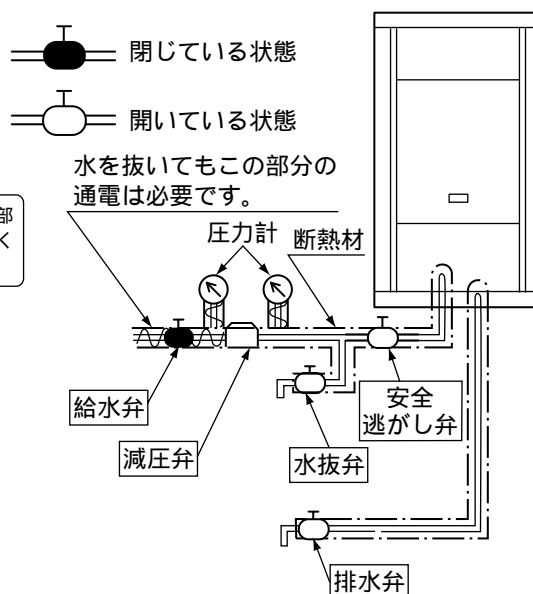
## 凍結防止ヒータを巻く方法

凍結する恐れがある配管各部に凍結防止ヒータを巻き、通電によって凍結を防止する方法です。寒冷時は凍結防止ヒータに通電してください。



## 水抜きをする方法

長時間にわたって蓄熱運転をしない場合は、給水弁を閉じ、排水弁および水抜き弁を開き水抜きをしてください。



### お知らせ

- 1) 給水は市水、上水または同等以上の水質を有する水を使用してください。（クーリングタワー水や暖房用温水などは絶対に使用しないでください。）
- 2) 公共の水道管から直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可取得済のもの）をご使用ください。
- 3) 給水管施工後最初の給水の際は、排水弁を開け給水を行い、赤水が排水弁出口より排水される場合は、赤水が排水されなくなるまで排水弁を開け放しにしてください。赤水が排水されず槽内に残った場合、ステンレス水槽のさび発生・水漏れの原因となります。

## 現地接続用の給水配管

現地にて接続する配管は、塩ビ管又はステンレス鋼管を使用してください。

炭素鋼管などを使用した場合、蓄熱熱交換器の鋼管腐食がおき冷媒漏れによるユニット故障が発生する場合がありますので注意してください。また、切削油が混入しないよう注意してください。

## 注水（給水）の水質について

蓄熱ユニットは、蓄熱槽にステンレス鋼板、熱交換器に鋼管を使用しており、蓄熱用水として適正な水質を維持する必要があります。蓄熱ユニットとしての性能を維持し、腐食を防止するため、必ず水道水（上水）を使用し、かつ（社）日本冷凍空調工業会の水質基準に従ってください。

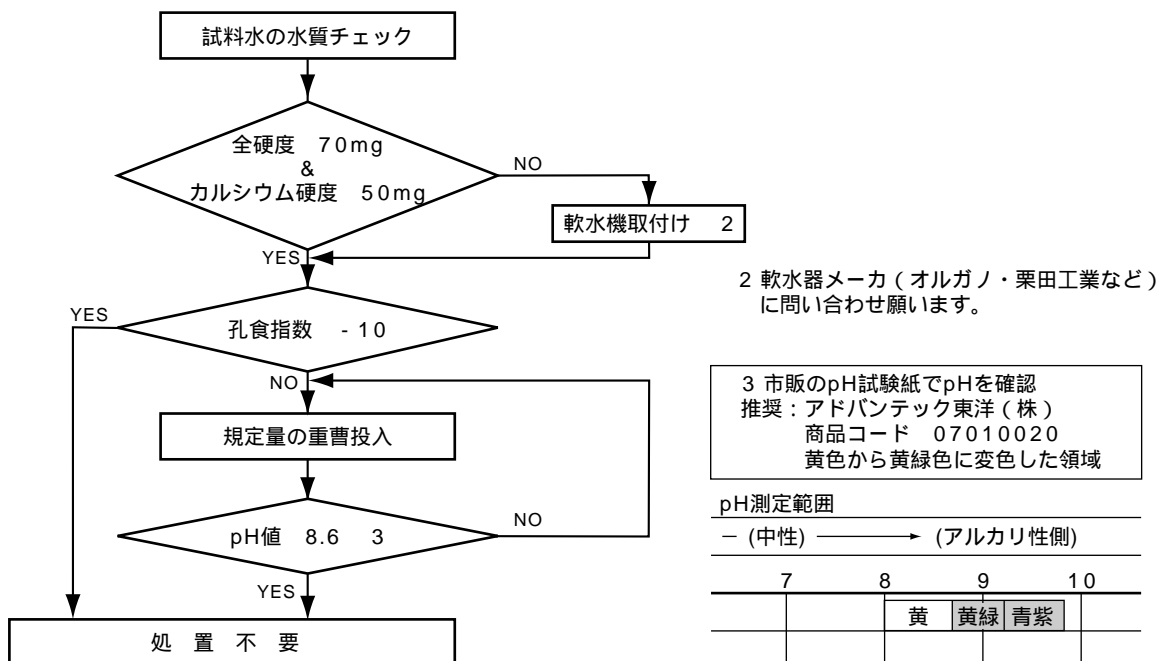
蓄熱槽の水質基準( JRA-GL02-1994より)				
項目		単位	基準値	基準値を超えた場合の対応
基準項目	pH(25 )	[-]	7.0 ~ 8.0	重曹投入によるpH調節
	電気伝導率(25 )	[mS/m]	30以下	
	塩化物イオン	[mgCl <sup>-</sup> /L]	50以下	孔食指数で管理
	硫酸イオン	[mgSO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> /L]	50以下	孔食指数で管理
	酸消費量(pH4.8)	[mgCaCO <sub>3</sub> /L]	50以下	孔食指数で管理
	全硬度	[mgCaCO <sub>3</sub> /L]	70以下	軟水器で除去
	カルシウム硬度	[mgCaCO <sub>3</sub> /L]	50以下	軟水器で除去
	イオン状シリカ	[mgSiO <sub>2</sub> /L]	30以下	
参考項目	鉄	[mgFe/L]	0.3以下	フィルター除去
	硫化物イオン	[mgS <sup>2-</sup> /L]	検出されないこと	重曹投入(pH値を上げる)
	アンモニウムイオン	[mgNH <sub>4</sub> <sup>+</sup> /L]	0.1以下	
	残留塩素	[mgCl/L]	0.3以下	金属防食剤の添加
	遊離炭酸	[mgCO <sub>2</sub> /L]	1.0以下	重曹投入(pH値を上げる)

1 は、JRA-GL02-1994水質基準より厳しく管理します。

お願い  
蓄熱槽への供給・補給水は必ず水道水( 上水 )を使用のこと。

## 水質チェックのフローチャート

下記のフローチャートに従い、水質チェックをお願いします。





## pH調節方法

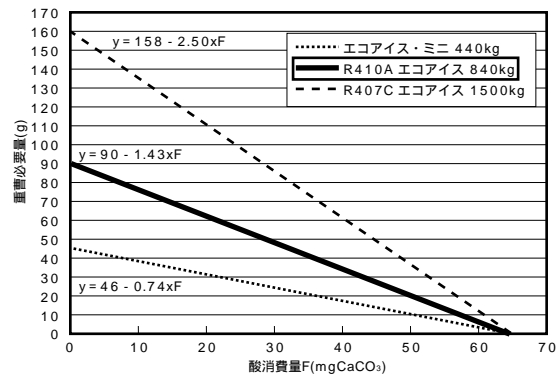
孔食指数WPI を - 10以下にするため重曹を投入します。重曹は、pH値が8.6になる位を目安に投入します。投入する重曹の量は、次式に示す酸消費量によって決まります。

蓄熱ユニット1台あたりの重曹必要投入量

RBM-CT250T-1, W-1 (水張り量 840kg)  
重曹必要量(g)= $90 - 1.43 \times$  酸消費量(mgCaCO<sub>3</sub>/L)

参考

RBM-CT500T, W (水張り量 1490kg)  
重曹必要量(g)= $158 - 2.50 \times$  酸消費量(mgCaCO<sub>3</sub>/L)  
ROP-CT51 (水張り量 440kg)  
重曹必要量(g)= $46 - 0.74 \times$  酸消費量(mgCaCO<sub>3</sub>/L)



### 重曹の溶解方法

重曹は非常に溶解しにくい性質のため、バケツ等の容器内で約40～50℃の湯に少量ずつ投入し、完全に溶解させてください。なお、この薬品は劇薬ではないので危険ではありませんが、作業時はビニール手袋、保護メガネを使用してください。

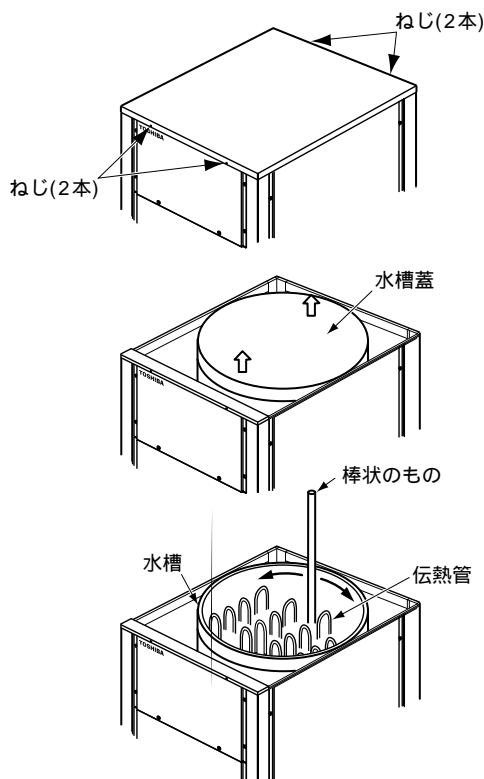
### 重曹の投入方法

蓄熱ユニットの上面サービスカバーを開け、水槽のフタを取り、水槽上部から溶解させた重曹液を水槽内壁近傍と端板の間(水槽の底が見える箇所)に円を描きながら投入してください。

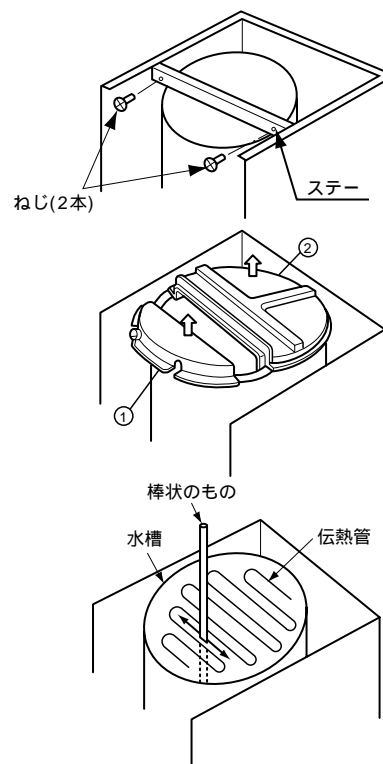
### pH確認方法

投入直後はpHが安定しないので約1週間後にpHを確認してください。  
pH値が8.6程度になるように重曹を追加投入してください。

RBM-CT250T-1, W-1 ROP-CT51の場合



RBM-CT500T, Wの場合



# 確認と点検（つづき）

## 水質管理

蓄熱槽の水替えは、極力行わないでください。そのためシステム使用前には、蓄熱槽、現地給水配管の洗浄を十分行ってください。また、使用開始時及び使用開始後定期的に（半年に1回程度）水質検査を行い、水質の変化を継続的に観測し、腐食傾向（緑青）が現れた場合は水の入れ替えを行うか、水処理メーカー等と協議し、適切な対策を行ってください。

水の入れ替えを行う場合は、蓄熱槽の清掃を合わせて実施してください。なお、薬品を使用する場合は、システム系に影響を与えないように選定の検討が必要です。

出展先：（社）日本冷凍空調工業会「氷蓄熱空調システムQ&A」

お願い：

水質は時間とともに変化します。半年に1回程度の定期的な水質検査を行ってください。

## 点検番号の確認

エアコンに不具合が発生した場合に、リモコンの点検スイッチで故障状況を示す点検番号が確認できます。修理を依頼する前に、次の手順で確認し、エアコンの症状とあわせて販売店にご連絡ください。

### 確認手順

手元リモコンの場合

エアコン本体の取扱説明書（別冊）P.31故障診断の項を参照ください。

蓄熱リモコンの場合

- 1.蓄熱ユニット用リモコンの点検スイッチを1～2秒押しと、「点検」の表示が出て、下段の試運転時間表示部に点検番号が表示されます。不具合が発生している場合は、中段の氷温表示部にユニット番号も表示されます。
- 2.ユニット番号は不具合の発生している蓄熱ユニットの番号を示します。
- 3.点検番号は、次のように表示します。

不具合が発生していない場合

-- --

不具合が1つ発生している場合

Fb --

不具合が2つ発生している場合

Fb IC



# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

**お買い上げの販売店へご相談ください。**

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

## 東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル

**0120-1048-00**

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど **03-5326-5038** (通話料：有料)

FAX 045-461-3493 (通信料：有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

## 保証書 (別添)

この東芝パッケージエアコンには、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

この東芝パッケージエアコンの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

## 補修用性能部品の保有期間

パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後9年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、手元電源スイッチを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。

### 保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

品名	パッケージエアコン	
形名	装置銘板に記載	
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。	
お名前	電話番号	訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名

電話番号

### 修理料金の仕組み

修理代は技術料・部品代・出張料から構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

## 東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地